

栃木県埋蔵文化財センターだより

やまかいどう

特集

埋蔵文化財センター設立 10周年記念事業

発掘現場レポート

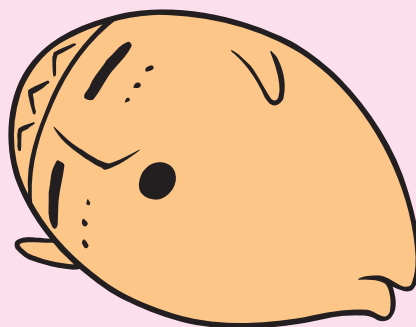
発掘現場の最新情報！

2001 新規事業Report

好評でした!!『埋蔵文化財活用のための基礎講座』

頒布図書案内

最近の発掘された成果がわかる
調査報告書を紹介します。



▲ボクはヤヨ坊。
埋文センターのマスコットだよ。

No.
28
2001.9

埋蔵文化財センター公開



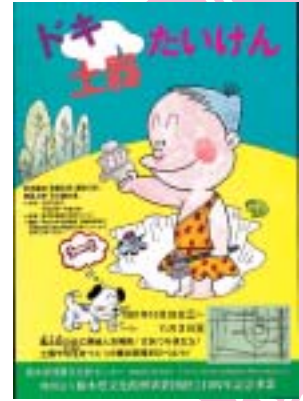
●平成13年4月22日(日)●

センター内の整理作業室を公開し、職員が写真パネルなどを使って解説しました。また、古代の宝の山がたくさん眠る収蔵庫へも自由に見学をしていただきました。

祝 10周年 特集

10周年

パンッ! パン!



平成3年
10年か
これを記
5つの事

◀今から10年前、埋蔵文化財センター。これは当時のポスター。10年の間に色々な変化がありました。

国分寺の瓦を愉しむ

～住田コレクションの世界～



●平成13年4月17日(火)～5月13日(日)●

故住田正一博士が、全国各地の国分寺跡を訪れて集めた瓦を、しもつけ風土記の丘資料館に展示しました。一般にはあまり公開されない貴重な瓦が、一同に介し壮観でした。

発掘調査報告会 = 栃木県立博物館共催 = ～とちぎ県民カレッジ連携講座～



●平成13年6月17日(日)●

栃木県立博物館を会場に、10年間の発掘調査成果とやまがいどうNo.27号でお知らせした6遺跡について、スライドを使い分かりやすく報告しました。



センター設立

記念事業

4月の開設以来
経過し、
念じて
業を行いました。

団法人栃木県文化振興事業団創立10周年と
オープン記念事業を実施。
ター。
ことがありました・・・



10周年記念研究紀要の発行



当センターの職員のほか、
今までに在籍した
方々が執筆した
研究最前線の
論文集です。

埋文センター見学に来た方々～

- 4月25日(水) 上三川町立上三川小学校
- 4月26日(木) (社)安佐法人会 女性部
- 4月27日(金) 国分寺町立国分寺小学校
- 5月7日(月) 真岡市立中村東小学校
- 5月16日(水) 上三川町立明治小学校
- 5月28日(月) 市貝町立小貝南小学校
- 6月4日(月) 小山市立小山第三中学校
- 6月5日(火) 粟野町立清洲第二小学校
- 6月5日(火) 真岡市立中村小学校
- 7月3日(火) 富士市教育委員会
- 7月10日(火) 國學院大學栃木短期大学
- 7月27日(金) 小山市立間々田中学校
- 7月30日(月)～8月1日(水) 下館市立下館中学校
- 8月6日(月) 小山市立小山第三中学校
- 8月20日(月)～8月22日(水) 葛生町立葛生中学校

遺跡発掘体験(見学含む)に来た方々～

- 5月28日(月) 市貝町立小貝南小学校
- 5月31日(木) 二宮町立物部小学校 郷土史研究会
- 6月11日(月) 都賀町立合戦場小学校
- 7月10日(火) 那須地区市町村教育委員会連合会 社会教育担当者文化財・資料館部会
- 8月9日(木) 栗山村ふるさと学習講座
- 8月27日(月) 茂木町立須藤中学校
- 8月28日(火) 鹿沼市小中学校社会科部会

栃木の遺跡 = 栃木県立博物館共催 = ～最近の発掘調査の成果から～



清六川遺跡発掘現場の1コマを再現



保存処理分析室の作業風景



整理・報告書作成作業の流れ

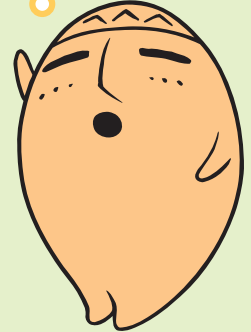
●平成13年7月15日(日)～8月31日(金)●
栃木県立博物館を会場に、発掘調査から
報告書作成までの作業風景を、実際に
再現し、分かりやすく展示しました。

みんなも見学に
来てね!



2001年 発掘現場 レポート

遺跡には
ロマンがいっぱい
つまってます



当センターが発掘調査している現場から、最新の情報をご紹介します。
発掘現場を見かけたらどうぞ声を掛けて下さいね。

1

すぎむらいせき

杉村遺跡 (宇都宮市東谷町地内)



杉村遺跡は、県道拡幅工事の事前調査で平成11年度から行なっています（今年で3年目です）。幅5m、長さ10~30m程の狭い範囲で調査を行っているため写真のように住居跡の一部が調査区内で確認されることが多いです。しかし小さな成果をつなぎ合わせると東谷町周辺の遺跡の広がりを考えていく上で重要な成果が蓄積されつつあります。

2

のざわいせき

野沢遺跡 (宇都宮市野沢町地内)

本遺跡は東弁天沼を望む西側の斜面にあります。7月現在、斜面から中世（今から約400~800年前）の墓地の跡が発見されています。たくさん発見された長方形の墓穴の周りからは、井戸や建物跡も発見され、その外側には墓地を区画した堀が巡っていました。写真の手前に写っている4つの丸い掘り込みは井戸の跡で、その奥には多くの長方形の墓穴が掘られています。こんなにも多くの墓穴に、どんな人々が葬られていたのでしょうか。今後は更に北へ範囲を広げ、調査は続きます。



3 ひこしちしんでん いせき 彦七新田遺跡 (市貝町上根地内)

この遺跡は、小貝川と大川に挟まれた丘陵上にあります。平坦な場所が少なく、住居の跡はあまり無いだろうと思われました。しかし、その予想に反して、写真のように現在、調査予定面積の3分の1で竪穴住居跡16軒、掘立柱建物跡4棟が見つかりました。これから本格的な調査が進んでいくと、遺跡の詳しい年代や、なぜこのような場所を利用する必要があったのかなど、疑問が少しずつ明らかにされていくことでしょう。

(写真は調査区を丘陵上から西側の大川に向い撮影したものです)



4 みねたかまえ いせき 峰高前遺跡 (二宮町物井地内)



峰高前遺跡では、古墳時代から平安時代までの竪穴住居跡が、約40軒見つかっています。古墳時代前期の住居跡では、家の柱を抜き取った穴の中から、土師器の甕が逆さになった状態で発見されました。甕は穴の中にぴたりとはまっていたため、写真のように周りの土を大きく崩して取り出したところ、台が少し欠けているだけで、ほぼ元のままの形で残っていることがわかりました。昔の人がこの家を立ち去るときに残していったものと考えられますが、いったいどんな思いでこの甕を置いていったのでしょうか？

5 にしおさかべ にしはら いせき ろっく 西刑部西原遺跡VI区 (宇都宮市西刑部・平塚町地内)

琴平塚14号墳の堀の底から箱式石棺(板状の石を組み合わせて棺のように作った埋葬施設)が見つかりました。墳丘の中心にも埋葬施設があったと考えられますが、既に削られていたため、その実態は不明です。通常とは違う場所に埋められたため、運よく残ったのです。蓋石を開けると、1500年の年月を経たにも関わらず、中は埋まりきらずに空洞になっており、壁に赤い顔料が塗られていました。遺体や衣服は腐って失われていましたが、死者にそえられた小刀が1本見つかりました。



▲箱式石棺の蓋石

◀石棺内の調査の様子

◆頒布図書案内◆

最近の発掘された成果がわかる調査報告書をご紹介します。

第197集 「藤岡神社遺跡(本文編)」

3,000円 送料520円

縄文時代前・中・後・晩期の集落跡及び中世の城館跡。縄文時代後・晩期の遺物包含層から耳飾り等多量の遺物が出土。本編は遺構や遺物の事実記載から観察表を掲載。

第234集 「那須官衙関連遺跡跡 VI」

210円 送料210円

古代那須官衙の平成11年度の調査概報。中央ブロックが実務的な施設(側柱式掘立柱建物)から、平安時代に正倉院(総柱式礎石建物)となることが判明。那須官衙の機能・変遷を考える上で重要な成果。

第235集 「那須官衙関連遺跡発掘調査報告書 II」

1,080円 送料340円

古代那須官衙関連遺跡の報告書。那須官衙東限の道路及び掘立柱建物、礎石建物、竪穴住居などを多数確認。他に旧石器時代の荒屋型彫刻刀形石器が1点出土。

第236集 「御霊前遺跡I(第一・二分冊)2冊組」

3,420円 送料660円

栃木県でも屈指の規模を誇る縄文時代の遺跡。広域農道建設に先立つ調査で、中期集落に伴う袋状土坑群や、晩期の集落跡などが発見され、遺物も多量に出土した。また、古墳時代後期前半から9世紀にかけての集落跡も重複しており、低地部分では中世墓地が確認された。

第238集 「西物井遺跡」

2,220円 送料450円

古墳時代中期から平安時代の集落跡。古墳時代(竪穴住居5軒)では、カマド導入期の焼失住居から出土した全国3例目の綾杉文字持勾玉と後期の竪穴住居出土の坏群62個体を掲載。平安時代(竪穴住居26軒)では、トイレ遺構と推定される土坑と畑跡、墨書土器『神役寺』掲載。

第239集 「成願寺遺跡」

2,370円 送料450円

古墳時代中期中葉～後期にかけての集落及び古墳群。住居跡63軒・古墳10基他。土器・石製模造品等多数出土。祭祀関連遺物による集落変遷を明確。また、隣接する寺の寺域を中・近世に遡って確認。

第240集 「伊勢崎II遺跡(旧石器・縄文・弥生編)」

1,380円 送料450円

真岡市所在の複合遺跡。本書では旧石器・縄文・弥生時代を中心に報告。旧石器文化層はAT上位と下位の2枚、併せて石器集中地点15基等を確認。他に、縄文時代中期の袋状土坑、弥生時代竪穴住居跡等を掲載。

第241集 「杉村・磯岡・磯岡北」

3,120円 送料520円

宇都宮市南部に所在する3遺跡の報告。縄文・弥生・古墳・奈良・平安時代。古墳時代は中期後半の住居跡約70軒を調査。火山灰(FA)が良好な状態で出土。奈良・平安時代は推定東山道跡を約300m分調査。

第243集 「鶴田A遺跡II」

600円 送料240円

五行川低地に位置する集落遺跡。7世紀から10世紀にかけての竪穴住居跡や、掘立柱建物跡などが発見され、同時期の溝も存在した。鶴田A遺跡Iと同一の遺跡であり、この地域の古代集落の様相を知る上での資料である。

第247集 「古橋I・II遺跡」

1,100円 送料380円

岩舟町に所在する、4世紀前半から9世紀後葉にかけての集落跡。古墳時代前期と中期の竪穴住居跡からは良好な一括資料が出土。平安時代では9世紀後葉の住居跡から、繊維が付着した紡錘車や鈎など多くの鉄製品が出土。他に『根』の刻書がある石製分鍾も掲載。

第252集 「谷向・国谷馬場・中の内・惣宮・鍋小路」

2,600円 送料520円

石橋・壬生町所在の5遺跡の報告書。谷向では奈良・平安時代の住居跡や土坑墓が、国谷馬場では旧石器ブロックが、中の内では中世墓地跡が、惣宮では、古墳中期～奈良・平安時代の集落が、鍋小路では古墳前期の方墳が確認された。遺物では惣宮遺跡出土の新羅系土器が特記できる。

第255集 「北の前遺跡」

2,400円 送料520円

二分冊のうちの第一分冊(縄文～古代編)。6C末～10C前半の集落跡を中心に報告。竪穴住居跡90軒、掘立柱建物跡15棟等が確認されている。灰釉陶器が住居跡の柱穴中から出土している。「男」の墨書土器も数点出土。

第256集 「上神主・茂原・茂原向原・北原東」

3,750円 送料590円

3遺跡の報告書。上神主・茂原遺跡では、旧石器時代の接合資料が出土。また、古墳時代後期から奈良時代の掘立柱建物、長方形竪穴遺構、竪穴住居の遺構群を調査。茂原向原遺跡では、古墳時代後期から平安時代の集落跡を調査。北原東遺跡では、古墳時代前期の方墳を調査。

「研究紀要9 —創立10周年記念論集—」

700円 送料380円

「槻沢遺跡における竪穴住居建て替えに関する覚書」後藤信祐、「関東地方東北部における縄文時代の大形貯蔵穴出現期の様相(上)」塚本師也、「袋状土坑における覆土形成過程の復元」合田恵美子、「縄文後期初頭から前半における壺形土器覚書」江原英 他

※図書頒価及び送料は消費税込みとなっています。

※送料は東北・関東・中部地方までの一冊あたりの金額です。

それ以外の地域や複数お申し込みの場合、また残部等につきましては、あらかじめ電話で確認願います。

※申込み・確認先 〒320-8530 宇都宮市本町1-8(Tel. 028-643-1011) 財団法人とちぎ生涯学習文化財団
希望図書名、部数をご記入のうえ、現金書留にて頒価+送料をお送り下さい。

2001 新規事業 Report

好評でした!!

『埋蔵文化財活用のための基礎講座』

この講座は、当センターが収蔵している出土品等の生きた教材を、学校教育・社会教育の場においても積極的に活用していただくため、今年度から開設いたしました。8月7日、8日の両日、当センター研修室を会場に、小・中学校の先生など16名の方が熱心に受講されました。

8/7(火)	内 容
講義 1	考古学用語・単語の解説
講義 2	埋蔵文化財活用事例
実習 1	石器の作り方
8/8(水)	内 容
講義 3	出土品等の取扱い方法
実習 2	土器の接合および復元
実習 3	質問および意見交換



◀ 講義1.「考古学用語・単語の解説」

いつもは教壇に立っている先生、今日は熱心に聞き入っています。そしてポツリと“こういう生徒ばかりの授業は楽しいなあ～”。



▲ 実習1.「石器の作り方」

“石で本当にナイフができるのか?” センター用意のエプロン・軍手をして準備万端。代表的な石器素材の黒耀石をシカの角でたたき割って、今にも切れそうなく片(薄い石のかけら)がとれました。ケガ(手の切り傷)した時にと用意したカットバンは箱のまま。あ～良かった!



▲ 実習2.「土器の接合および復元」

ジグソーパズルより大変。グループ(4名)で協力し、試行錯誤の末割れる前の形に復元しました。これでもう安心!「学校へ借りていっても大丈夫だ」割れたら自分で接合するぞ。

新・発・見 考古速報展

『発掘された日本列島 2001』

栃木市大塚古墳群内遺跡で発掘された弥生時代の人面付土器と寺野東遺跡の出土遺物が平成13年7月22日(日)～8月26日(日)まで小山市立博物館で展示され、6,638名の方に見ていただきました。



